

経緯					
日付	内容				
3/17(月)	まちづくり協議会に説明 ・社会教育委員会議の趣旨について		まち協 会長	まち協 事務局	生涯 学習課
3/24(月)	老上小学校に説明 ・こども実行委員会の趣旨説明 ・チラシの配布等について依頼			まち協 事務局	生涯 学習課
4/3(木)	まちづくり協議会と打ち合わせ ・老上学区防災フェスでこどもを主体とした ブースの出展について協議		まち協 会長	まち協 事務局	生涯 学習課
4/14(月)	老上中学校に説明・打ち合わせ ・こども実行委員会の趣旨説明 ・チラシの配布等について依頼			まち協 事務局	生涯 学習課
4/17(木)	SOS委員企画チーム会議 ・SOS委員企画チームにこども実行委員会の趣旨説明 ・防災フェスのタイムスケジュール等について共有 ・コーディネーター発掘		まち協 会長	まち協 事務局	生涯 学習課
4/24(木)	SOS委員チームリーダー会議 ・SOS委員の各チームリーダーにこども実行委員会の趣旨説明 ・他ブースの出展内容について共有 ・コーディネーター発掘		まち協 事務局	SOS 委員	生涯 学習課
5/10(土)	SOS委員企画チーム会議 ・こども実行委員募集チラシ	コーディネーター	まち協 事務局	SOS 委員	生涯 学習課
5/17(土)	SOS委員全体会議、防災ネットワーク会議 ・各地区防災担当者にこども実行委員会の趣旨説明 ・こども実行委員・防災フェス当日の協力依頼		コーディネーター	まち協 事務局	生涯 学習課
5/22(木)	立命館大学にチラシ配布依頼				生涯 学習課
5/26(月)	光泉カトリック高校にチラシ配布依頼			まち協 事務局	
6/20(金)	コーディネーターと打ち合わせ ・コーディネーターにこども実行委員会の趣旨説明 ・第1回こども実行委員会の内容について協議		コーディネーター		生涯 学習課
6/21(土)	第1回こども実行委員会	コーディネーター	まち協 事務局	SOS 委員	(生涯 学習課)
7/5(土)	第2回こども実行委員会	コーディネーター	まち協 事務局	SOS 委員	(生涯 学習課)
7/17(木)	コーディネーターと打ち合わせ ・第3回こども実行委員の内容について協議		コーディネーター		生涯 学習課
7/19(土)	第3回こども実行委員会	コーディネーター	まち協 事務局	SOS 委員	(生涯 学習課)
8/6(水)	コーディネーターと打ち合わせ ・第4回こども実行委員の内容について協議		コーディネーター		生涯 学習課
8/9(土)	第4回こども実行委員会	コーディネーター	まち協 事務局	SOS 委員	(生涯 学習課)
8/22(金)	コーディネーターと打ち合わせ ・第5回こども実行委員の内容について協議		コーディネーター		生涯 学習課
8/23(土)	第5回こども実行委員会	コーディネーター	まち協 事務局	SOS 委員	(生涯 学習課)
8/27(水)	コーディネーターと打ち合わせ ・防災フェスの動きについて協議		コーディネーター		生涯 学習課
8/30(土)	防災フェス当日	コーディネーター	まち協 事務局	SOS 委員	(生涯 学習課)

こども実行委員会の活動内容		
第1回目(6/21) ＜参加者＞ 小学校4年生 1人、中学校1年生 2人、 コーディネーター 1人  ＜内容＞ ・アイスブレイク ・老上学区の防災についてセンター長からお話 ・ハザードマップを見ながら避難場所や避難経路を考える ・案出し ＜こどもの意見＞ ・ハザードマップで気軽に身近な防災について知ったことから、「みんなに楽しんでもらえるものにしたい」という意見が出た ・「誰にでも防災が伝わるようにしたい」という意見が出た ＜大人の関わり＞ ・コーディネーターを中心に防災を身近に感じる学びを実施 →次回に向けて、防災フェスでやりたい内容を考えてくる		
第2回目(7/5) ＜参加者＞ 小学校3年生 3人、4年生 3人、中学校1年生 1人、コーディネーター 2人 ＜内容＞ ・アイスブレイク ・案出し ・実施内容決定 ＜こどもの意見＞ ・出た案を受け、「楽しく防災について知ってもらえるようなものがいい」という意見が出た ・「参加者全員が楽しめるものにしよう」「小さい子から高齢者まで楽しめることはなんだろう」と検討 ・「すごろくやクイズなどの案が出ていたが、「みんなが防災についていっぱい楽しく知ることができる」という意見から、クイズを実施することに決定 ＜大人の関わり＞ ・コーディネーターとこどもが実施内容を一緒に考える、案を決めるヒント出し →どんなクイズにしたいか考えてくる 		
第3回目(7/19) ＜参加者＞ 小学校3年生 3人、4年生 3人、中学校1年生 2人 コーディネーター 3人 サポーター 4名(大学生)  ＜内容＞ ・どんなクイズにするか決定 ・グループに分かれて実施方法等を検討 ＜こどもの意見＞ ・チームでクイズに参加する案もあったが、「個人の方が自分の意見が出せる」「みんなが参加しやすい」という意見で個人参加形式に ・クイズは個人参加形式なので、「みんなで協力してできるんじゃないかな？」という意見を受け、バケツリレーもすることに決定 ・バケツリレーでは「こどもやお年寄りでも受け渡しが簡単にできるように」と一人一人の距離等を相談した ＜大人の関わり＞ ・サポーターからも「クイズとバケツリレーを合体させたら今までにないようなクイズになるんじゃないか」など、よりよい取り組みになるよう意見が出た ・クイズでは防災について知っていることをこども実行委員とコーディネーター、サポーターから出し合った ・バケツリレーでは、サポーターから「早さか、一致団結か、どちらが大切なのか」という問いかけがあった →クイズとバケツリレーを実施する →サポーターの問いかけによりバケツリレーは一致団結を大切に実施		
第4回目(8/9) ＜参加者＞ 小学3年生 3人、4年生 3人、中学1年生 1人 コーディネーター 3人 サポーター 5人(高校生 1人、大学生3人、地域の方 1人) ＜内容＞ ・防災活動をする学生団体から避難所についての話 ・クイズチームでは、出題するクイズの内容を決定 ・バケツリレーチームでは、当日の動きのシミュレーション ＜こどもの意見＞ ・クイズチームでは、「クイズの選択肢を災害に関係のあるものにする」と、他の選択肢のことも学べると思う」という意見があった ・1回に運ぶ個数が、30個では時間がかかりすぎるという声があり数を再検討したが、「奇数はバケツにボールを入れるのに時間がかかる」という意見から偶数になった ＜大人の関わり＞ ・クイズチームでは、老上ならではのクイズも入れてはどうか？となり、サポーターから老上検定を活用してはどうかという提案があった ・バケツリレーでは、作戦会議に話し合いを進める人が入ったほうがいいのかという意見がサポーターからあり、こども実行委員が作戦会議時のファシリテーターとして入ることになった 		
第5回目(8/23) ＜参加者＞ 小学校3年生 3人、4年生 2人、中学校1年生 2人 コーディネーター 3人 サポーター 3名(大学生) ＜内容＞ ・リハーサル ＜こどもの意見＞ ・こどもが読める表記や画像の使用など、伝わりやすいスライドについて提案があった ＜大人の関わり＞ ・リハーサルを受けての課題をこどもとともに修正を行った 		
周知		
日付	内容	
5/21(水)～	こども実行委員・サポーター募集開始	まち協 事務局
6/26(木)、7/10(木)、 7/24(木)、8/28(木)	こども実行委員会活動報告 (まちづくり協議会HP)	
8/19(火)～	こども実行委員会活動チラシ配布	